

令和7年度 百々小だより

前期学校評価特別号

令和8年1月31日

京都市立百々小学校

校長 山下 博典



【学校教育目標】 **自分も友達も大切にし 笑顔あふれる学校**
 ～認め合い 支え合い 高め合える百々っ子～

◎「よく出来ている」「大体できている」との回答結果

設問 (児…児童 保…保護者 教…教職員)	(%)
児 学校は楽しいですか。	88%
保 子どもは、楽しく学校に行っている。	97%
教 子どもは、楽しく学校生活を送っている。	100%
児 学校のきまりや約束を守っていますか。	89%
保 子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	96%
教 子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	71%
児 相手に届くあいさつをしていますか。	77%
保 子どもは、明るく元気なあいさつができています。	77%
教 子どもは、明るく元気なあいさつができています。	58%
児 自分や人を大切にしていますか。	91%
保 子どもは、自分や人を大切にしている気持ちや態度が育っている。	95%
教 子どもは、自分や人を大切にしている気持ちや態度が育っている。	95%
児 家でも学校でも時間を守って活動することができていますか。	84%
保 子どもは、時間を守って活動している。	77%
教 子どもは、時間を守って活動している。	71%
児 先生や家族に困ったことを相談したり、学校の出来事などを話したりしていますか。	76%
保 子どもは、困っていることや学校の出来事などを家で話している。	85%
教 子どもは、困っていることを相談したり、出来事を話したりしている。	85%
児 百々の地域のことが好きですか。	91%
保 子どもは、百々の地域のよさを感じている。	80%
教 子どもは、百々の地域のよさを学べる教材・単元づくりをしている。	91%
児 家や学校などで進んで読書をしていますか。	58%
保 子どもは、家で進んで読書をしている。	32%
教 子どもは、学校で進んで読書をしている。	10%
児 自分のめあて(学級目標、学習、生活)に向かって努力をしていますか。	87%
保 子どもは、いろいろな目標に向かって努力している。	76%
教 子どもは、目標をもち、その達成に向けて努力している。	76%
児 家で宿題などの家庭学習をきちんとしていますか。	91%
保 子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	92%
教 子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	77%
児 授業でわかったり、できるようになったりしていますか。	91%
保 子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	71%
教 子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	62%
児 人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。	85%
保 子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	71%
教 子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	53%
児 学習の準備を自分できちんとし、忘れ物をしないように気をつけていますか。	86%
保 子どもは、学習の準備を自分できちんとしている。	72%
教 子どもは、忘れ物をしないように気をつけている。	81%
児 早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	73%
保 子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	82%
教 子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	62%
児 日頃から外遊びや運動をしていますか。	80%
保 子どもは、日頃から外遊びや運動をしている。	69%
教 子どもは、日頃から外遊びや運動を積極的に行っている。	95%

今回の結果では「学校は楽しい」が児童で全体の90%を占め、前回よりも数パーセント増えています。「きまりや約束を守っている」「自分や人を大切にしている」「宿題をきちんとしている」等の項目でも90%を超える割合となっています。一方で「時間を守って生活している」「相手に届く挨拶をしている」「授業でわかったり、できるようになったりしている」については、できていないと回答している子が一定数いる結果になりました。これを受けて、特に改善が必要な以下の3点について、教職員全体で話し合いました。その考察についてお知らせいたします。この結果を参考に今後の学校教育活動にいかしていきたいと思っております。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

＜結果の考察＞

◎子どもが時間を守って生活するために

「子どもが時間を守って生活するために」という項目では、児童の84%が「はい」と回答しており、保護者の皆様では77%、教職員では71%という結果でした。実際の学校生活においても、多くの子どもたちが休み時間の終わりや授業の始まりなど、時間を意識して行動しようとする姿が見られています。

一方で、より一層、心にゆとりを持ちながら時間を守って行動できるようになるためには、周囲の大人の関わりが大切であると考えています。学校では、教職員一人一人が手本となり、子どもたちの様子を温かく見守りながら、声かけや支援を続けてまいります。

ご家庭でも、登校前や帰宅後、休日の過ごし方などについて、だいたいの見通しや計画を立てていただくことで、より子どもたちが安心して、気持ちよく生活できるようになると考えております。引き続きご協力をお願いいたします。

◎子どもがすすんで挨拶をするために

「相手に届く挨拶をしている」という項目では、児童・保護者ともに77%が「はい」と回答し、多くの子どもたちが挨拶をしていることが分かりました。一方で、教職員の回答は58%にとどまり、挨拶の質や相手意識については、まだ伸ばしていける部分があると受け止めています。実際の学校生活を見ても、挨拶を返すことはできても、自ら進んで誰にでも気持ちよく挨拶をする児童は、まだ多いとは言えません。「挨拶はしているけれど、声が小さい」「相手の目を見ずに言っている」といった姿も見られます。挨拶は、相手の存在を認め、気持ちを伝える大切なコミュニケーションの第一歩です。より気持ちのよい挨拶ができるようにするため、学校では「相手を見て」「はっきりした声で」ことを大切にしながら、挨拶をしたときには、「気持ちのいい挨拶だったね」と言葉にして認めながら教職員が手本を示し、日々声かけを続けていきます。

ご家庭でも、朝の「おはよう」「行ってらっしゃい」を、目を見て交わすことや地域の方への挨拶を引き続き意識していただき、大人が率先して行うことで、大人の自然な姿や、あいさつを喜んでもらった経験が、子どもたちの「やってみよう」という気持ちにつながるような学校と家庭、そして地域が一体となって、子どもたちが誰にでも気持ちよく挨拶のできる力を育てていければと考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。